

 いわみざわ公園バラ園 www.iwamizawa-park.com

ミズバショウ

昨年、石狩川河口近くの河川敷にあるマクンベツ湿原にミズバショウを見に行きました。少し時期が遅くなってしまい、白い苞よりものすごく巨大は葉ばかり目立っていたので今年は早めに見に行きたいと思っています。オオバナノエンレイソウやアズマイチゲ、エゾエンゴサクなども咲いていて春の共演が楽しめました。毎年あちこちのお花を見に出かけますが、テレビ、新聞などの情報だけでなくホームページで開花状況をお知らせしているところも多く参考にしています。でも満開の時にに行けることはなかなか難しいですがこうやってまた来年の楽しみとしています。(いとう)

メイプル・シロップ

日中の気温が5度を超えるようになると、北国の木々でも水を吸い上げるようになります。糖度では本場カナダのシュガーメイプルには及びませんが、道内のイタヤカエデから樹液を採集し、これを煮詰めて40倍に濃縮すると良質なシロップが出来上がります。シラカバからも、ミネラルがたっぷり、ほのかに甘い樹液が期待できます。いずれも4月下旬まで、早春に授かる自然の恵みとなります。(かわはら)

名前を調べましょう。

電話での相談で返答に困るのは、相談者の問題とする植物の名前が分からない場合です。自分の育てている植物の名前は、ぜひ何かの機会に調べておくことをおすすめします。名前が分かれば、よりよい育て方を答えることができると思います。(きのした)

今月の便り

身近な草木で

私たちの舌になじみのある野草の1つにヨモギがあります。ヨモギは草餅や天ぷらや和え物として身近なもので、葉を乾燥させ繊維だけ集めたのがお灸の「モグサ」。木綿袋に生葉が乾燥させた葉を詰めたヨモギ湯は腰痛に効果があると言われています。またヨモギ入りそば粉のパンケーキも香り高いヘルシーな一品です。地下茎を延ばして繁殖する生命力はかなりのものです。早春から初夏にかけての葉を手摘みで採取して試して見るのも楽しいでしょう。

(たかはし)

スズランの花付きが年々悪くなっているのはなぜか

日当たりでよく育ちますが高温多湿が苦手なので、地植えは明るい日陰に植えるようにします。鉢植えは春と秋は日当たりに置き、夏は暑さを避けた風通しのよい明るい日陰に置くようにします。暑さなどで葉を傷めてしまうと、十分に成長できずに翌年の花付きに影響します。晩秋に自然に枯れるまで元気な葉を保つことは大切です。寒さには強いので、特に防寒は必要ありません。春から秋の生育期は土の表面が乾いたらたっぷり水を与えます。冬は休眠していますが、土を湿らす程度に回数を控えて水を与えましょう。強い乾燥を好まないのも、一年を通して乾かさないように気をつけましょう。肥料はさほどたくさん必要としませんが、少量与えると花付きもよくなります。春に芽を吹く直前の3月~4月と花後にゆっくりと効くタイプのものを与えます。地植えは腐葉土などの有機質がたっぷり入っていたら、さほど肥料に気を遣わなくてもよく育ちます。

(ながやす)

バラ園

先月からすでに、駐車場にズラリと並ぶ「ツクシイバラ」の剪定・誘引から屋外のバラのお世話が始まっています。ツクシイバラは、南九州原産のバラで絶滅危惧種Ⅱ類に指定されており、自生は少なく唯一熊本県の球磨川流域で群生が見られます。当園では‘人里（へんぼり）’‘笛吹（うずしき）’など、10品種のコレクションを楽しむことができます。

今月の開花情報



室内公園 色彩館

トウオガタマ（唐招霊）

Michelia figo
モクレン科オガタマノキ属
中国南部原産
別名 カラタマオガタマ



葉は光沢と厚みがあり、まるでレザーのよう。さらに、枝や葉軸は細かい毛を持ち、まるでベルベットのように。クリーム色の花びらには微かに紫のふちどりがあり、なんとも神秘的な花が咲きます。花は少し地味なのですが、咲くとバナナのような甘〜〜い香りが漂います。英名で“banana shrub (バナナシュラブ)”、納得です。生薬では“ガンショウカ (含笑花)”といい、お茶の賦香料 (ふこうりょう：香りづけ) として利用されています。

畑に撒く石灰の量と撒く時期は

畑に撒く石灰には「苦土石灰」「生石灰」「消石灰」「有機石灰」とあります。特徴はそれぞれ違いますが、基本的に畑の土を酸性土からアルカリ性に中和させるのに欠かせないのが、この石灰類です。『苦土（くど）石灰』は『消石灰』にプラス、マグネシウムを含む石灰です。土壌を中性に近づけ、カルシウムはもちろん、マグネシウムの補給にまで役立ってくれます。『有機石灰』の特徴は、穏やかに中和し土中の微生物を死滅させたり土を硬くしたりはしません。「生石灰」は石灰石に熱を加えたもので、水と化学反応して発火しますので、保管には要注意です。撒く時期は、苦土石灰、生石灰、消石灰は、植えつけの2週間前と言われていますが、土質（砂地、粘土地、黒ボク等）によって異なりますので20日位前が無難と思います。有機石灰（貝殻石灰）は、前年の秋に撒いておくと効果が出ます。撒く量は、購入した袋に記載されているので参考にすることをお勧めします。ただし、土質によって散布量が大きく変わります。また現在の畑のPHがどの位で、作る作物がPHどの位が生育に適しているかによって異なります。

※PHとは0～14で表す酸性度のことです。PH7を中性とし、それより小さい数字ほど酸性度が高く、大きくなるほどアルカリ度が高くなります。

チャット
いっぷく



ひとつき
ひとバラ



文：田中 伸枝
(いわみざわ公園バラ園)



第四十八回

ハイブリッドルゴサローズ

フィンブリアータ

Fimbriata

作出国：フランス

作出者：Morlet

作出年：1891年

ハーディネスゾーン：Z5

返り咲き性

交配：Rosa rugosa Thumb. × Madame Alfred Carrière

フィンブリアータは、なんといってもギザギザの入った花弁がとても特徴的です。「フリンジのある」という意味で、花径5cmほどの小ぶりでも可愛らしい白い花にほんのりピンクがのって、とても可憐な印象です。よく「カーネーション咲き」という表現をされますが、別名で Dianthe flora : ディアンサフロラといい、「ディアンサ」とはナデシコの学名です。たしかに「ナデシコ咲き」のほうがイメージしやすく、可憐なこの品種に合っている気がします。

樹高は1.8mほどで自立しますので、お庭の背景としても使えますし、トゲもそれほど多くないので、構造物に誘引しても良いです。葉脈がさほど深くなくてうるさい感じがしませんし、ライトグリーンの葉がお庭を明るくさわやかに彩ってくれることでしょう。開花サイクルについては、一季咲き・返り咲き説がありますが、当園のフィンブリアータが10月に咲いているのを見たことがありますので、少なくとも返り咲きでしょう。連続開花性も強くなく、トゲもさほど多くなく、葉脈も深くなく…ハイブリッドルゴサ系らしくない趣ですが、耐病性・耐陰性はとても強いです。どうやらノアゼットローズ系で父親の Madame Alfred Carrière : マダムアルフレッドキャ

リエールの影響が大きいのでは、という印象を受けます。

ルゴサローズ(ハマナシ)が日本からヨーロッパに初めて渡ったのは18世紀後半でしたが、同時期にコウシンバラが流行って、日の目を見ることはありませんでした。再び渡ったのは19世紀半ばごろで、強健性や連続開花性、ヒップの美しさや香りの良さなどが注目され、交配種として使用されるようになりました。作出者である Morlet は、世界初のハイブリッドルゴサローズ…じゃないか、といわれている Souvenir de Yeddo : スーヴニールドゥエドを1874年に作出しています。直訳すると『江戸の思い出』…どんな思い出なのかとても気になるところです。ほかに、同じくハイブリッドルゴサ系や、ブルソール系の品種もいくつか作出しています。新しいもの好きなお方だったのかもしれませんがね。

ハイブリッドルゴサローズは6月上中旬ごろから、園内のうえのほうハマナスの丘で咲き、約50品種のコレクションになっています。まだ少し肌寒いところに咲くルゴサは香りが濃厚で、風が吹くとフワッという香りが漂い、花に顔を近づけて観察しているとクラクラきちゃいます♪春のお散歩コースにいかがでしょうか。

平成 30 年度 いわみざわ公園バラ園作業ボランティア

『トムテ』のなかま 募集

◆◆◆『トムテ』とは ◆◆◆

そのお家のお手伝いをしたり守ってくれる、
スウェーデンの妖精の名前です。



バラ園を一緒に育みませんか？

皆様にもっと親しんでいただけるバラ園になっていきたいという
思いを込めて、作業ボランティアを募集しています。

お問い合わせ先 いわみざわ公園バラ園 (室内公園 色彩館)

〒068-0833 岩見沢市志文町 794 番地 TEL 0126-25-6111

URL : <http://www.iwamizawa-park.com> Eメール : info@iwamizawa-park.com

担当 : いわみざわ公園指定管理者 空知リゾートシティ (株) 田中

4 月の市民園芸講座のご案内



●4月7日(土) 10:00~12:00

ばらゼミB・応用編①剪定~原種からハイブリッドまで。

料金：無料 定員：40名 講師：工藤 敏博さん ローズグローワ

●4月8日(日) 10:00~12:00

ばらゼミA・基礎編②剪定~バラ剪定の基本の「き」

料金：無料 定員：40名 講師：工藤 敏博さん ローズグローワ

●4月8日(日) 13:00~15:00 庭木・花木管理の基本

料金：無料 定員：40名 講師：川原 元信さん 川原花木園

●4月15日(日) 13:00~15:00 ハンギング作りの基本

料金：1,500円(容器代別途2,000円) 定員：40名

講師：梅木 あゆみさん 月形コテージガーデン

●4月22日(日) 13:00~15:00 家庭菜園を楽しもう

料金：無料 定員：40名 講師：大道 雅之さん 拓殖大学北海道短期大学

編集・発行 空知リゾートシティ株式会社(いわみざわ公園バラ園指定管理者)

お問い合わせ いわみざわ公園バラ園 室内公園「色彩館」 0126-25-6111